

欠席委員からの意見

- ・既に多くの利用者に愛用されている施設であり、ユーザー指向で考えることが重要
- ・しあわせの村のリニューアルとして、何を転換すべきか、色々な面から考える必要あり
 - ターゲット（対象とする層）をどう考えるか
 - ⇒現状：ゲストユーザーを前提 → パワーユーザーを前提とした枠組みの検討
 - ⇒付加価値を深掘りするため、特定のペルソナ（対象者像）を設定することも一案
 - 現状：総花的（あらゆる市民を対象） → 障害を持つ方がどう利用するかを徹底的に考えるという方法も
 - 収益モデルをどう考えるか
 - ⇒現在のトレンドは、サブスクリプション（定期購読・利用期間ごとの支払い）へ
 - ⇒しあわせの村への滞在時間を長くすることによる波及効果もあり、特にパワーユーザーに対してはこの考え方が有効では
 - ⇒ストック収益を増やすことで財政面をより安定させて継続的なサービス向上の原資としてはどうか
- ・障害当事者によるビジネスに関わってきた立場から、障害者の自立支援をするためには、当事者がしっかり自らの責任も持った形で仕事を任せられることが必要。障害者自らがテクノロジーを使って自律的に責任のある活動ができる環境を整備することが本質的な障害者支援であると考え
- ・しあわせの村として交通アクセスをどう改善するか、も課題ではないか。「思いついたときにすぐ行ける」は大きなサービスでありリターナー増加の要因である